

4. 環境月間における取組み

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国で様々な行事が実施されています。当社においても、環境コミュニケーションを推進するための諸行事を展開しており、2016年度は、「きゅうでん環境月間エコチャレンジ2016～つたえよう！私たちの思い、地域とともに～」をテーマに、地域の方々との協働による活動や、次世代への環境教育などを九州各地で実施しました。

詳細は [九州電力](#)
 > 関連・詳細情報 (P2参照) > 環境月間

社外ステークホルダーのご意見
 子どもたちへの環境教育に
 力を入れてほしい
 P.38
 次世代への環境教育

【地域の方々との協働による活動】

自治体等主催の清掃活動への参加や環境イベントへの出展、近隣公園への花植栽など、九電グループ一体となって地域の思いに寄り添い、地域とともに取組む活動を87事業所で実施しました。



佐賀城跡の門清掃活動（佐賀配電事業所ほか）

【次世代への環境教育】

地域の園児、小・中学生を対象に、環境やエネルギーに関する出前授業、芋掘り（苗付け）や鮎の稚魚放流体験など、次世代への環境教育を22事業所で実施しました。



幼稚園・保育園児による芋苗付けの様子（新大分発電所）



稚魚放流体験の様子（耳川水力整備事務所）

【省エネ・街頭キャンペーン】

街頭やお客さま対象の省エネ講座などにおいて省エネのご協力をお願いを62事業所で実施しました。

当社の省エネへの取組みとして24事業所でグリーンカーテンを設置しました。



グリーンカーテンの設置（福岡営業所）



私の環境アクション

「さつまいもの収穫体験」

ひよこのくにランド保育園
園長

佐々木ひとみさま



保育園では、子どもたちへ生きる力の必要性を知り、身に付けていくための活動に取り組んでいます。年間行事として九州電力さんにご協力をいただき、さつまいもの苗付け、親子での収穫を体験しています。青空の下、広大な畑の上に立ち、土の色や感触、匂いを感じながら土の中から出てくるお芋に歓声をあげ、「見て見てお芋とれたよ。」と親子で喜びを共感し合い、子どもたちは土で真っ黒になった手を広げ満面の笑顔を見せてくれました。

収穫を通して子どもたちは、食卓に並ぶ食べ物へ「いただきます。」の意味を知り、料理すること、食べること、命の大切さへの思いがより強まり感謝していることでしょう。

今後も活動を通じて自然の大切さ、命の大切さを子どもたちへ教えていきたいと思えます。



用語集をご覧ください

- 環境月間
- 環境コミュニケーション